



みんな大好き！ 学校大好き！ ふるさと大好き！

「大好き！」 第7号



令和4年10月20日(木)発行 (本校ホームページQRコードです。他のお便りや給食、学校生活ブログ等をご覧いただけます。)

再起可能！

言葉でつながる
心のきずな

以前、RK熊本放送アナウンサー 木村 和也氏の「再起可能」～言葉でつながる心のきずな～という講演を聞いたときのお話です。

RKKテレビで活躍中でおなじみの“キムカズ”こと、木村和也さんは、入社10年目の平成13年に番組の取材中のアクシデントにより、脊髄損傷・両下肢完全麻痺となられました。歩けるようになる確率1%という厳しい状況の中、8ヶ月に及ぶ入院・リハビリ期間を経て、奇跡的な復帰を遂げられました。

歩けるようになる確率1%、つまり、99%の不可能を可能に変えた原動力は、「家族・友人・病院スタッフ等、周りの人々の言葉」だったと話を結ばれました。

言葉には、エネルギーがあるということです。言葉は、使い方によっては、人を傷つけるマイナスのエネルギーとなることもあります。木村さんは、人を元気にするプラスのエネルギーをシャワーのように浴びて、再起可能を実現されたのです。

木村アナに、勇気とエネルギーを与えた言葉の中から、印象的だったものをいくつか紹介します。

☆あきらめてはいけません！

可能性がゼロではないことに大きな意味があります。0と1ではまったく違います。

☆過去の自分と比べなさい！

1日で出来る人もいれば、10日かかる人もいます。人と比べて嘆くのではなく、過去の自分からの成長を喜びなさい。

☆すぐに、「無理です。」と言うな！

やる前から「無理です。」と言うのは、“出来ない”のではなく“やっていない”だけのこと。限界を自分で決めてはいけません。

⇒これは、子供たちもよく使う言葉です。

「無理だし！」や「それ無～理～！」

⇒やることの意味に対する疑問や不安を言葉に発して解決すれば、納得して取り組める。納得は“できる”への早道！

☆無理せず、無理して

やれることを増やしたかったら、無理をしなさい。しかし、無理をしすぎたらいけません。体を壊さない程度に無理をしなさい。

言葉は、生き物です。学校生活の中でも様々な言葉が飛び交っています。時には、発言の意図とはまったく違う意味で相手に伝わることもあります。相手に伝わる正しい言葉の使い方をも身に付けさせたいものです。ご家庭でも、言葉の使い方について、話題にしていただけたらと思います。

“かめ吉”の心に染み入るいい話！

講演の中に、木村アナがいっしょに仕事をされる機会が多い、リポーターの“かめ吉”さんの紹介がありました。

かめ吉さんは、木村アナの入院中、237日間（8ヶ月）毎日お見舞いに通われたそうです。

そんな中、田植えのシーズンに、「この稲が実り、収穫を迎える頃には、俺も退院したいなあ！」と病室の窓から見える田んぼを見ながらつぶやいた木村さんの言葉をかめ吉さんは忘れることはなかったのです。

かめ吉さんは、木村アナの退院祝いに「お米」を贈られたそうです。しかも、病室から見える田んぼの持ち主を探し、事情を話し、譲っていただいたお米だったのです。持ち主の農家の方といっしょに病院をバックに写ったかめ吉さんの写真も添えてとのこと。

テレビで見るかめ吉さんのイメージからは想像できない、“素”のかめ吉さんの“心根”に感動しました。

運動会で身に付けた力を 今後の生活につなげよう！

- き 気合いを入れて全力を尽くす力
- よ よかったことを喜び合う力
- ら ラスト(最後)まであきらめない力
- つ つながる心を大切にする力
- こ ころんでも(失敗しても)立ち上がる力

プレゼン大会、学習発表会（りんどう祭）、りんどう太鼓、持久走大会、県学力調査、縄跳び大会、絵画展、書写展など今後も行事が目白押しです。「きょうこ」の力でがんばっていきましょう。

転入生の紹介です！

10月1日より、天草市立本渡北小学校より、
1年生 横山 かえら さん
3年生 横山 ふうや くん

10月19日より、南小国町立市原小学校より、
1年生 松崎 けんすけ くん

が転入し、全校児童は51人となりました。
みなさんよろしくお祈りします。

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！